



11/2(±)
3(日)

込めて
このテ
ーマと
なりま
した。
メイ
ンステ
ージで
は、実
行委員
が主体
となっ

とたんけんたい』をテーマに
ボール投げや輪投げ、空気砲
もぐらたたきなどの遊びを企
画しています。製作コーナー
では、「不思議なカメラ作り」
の体験ができます。また、乳
幼児さんが遊べるコーナーを
新たに設けました。さらに、
芝生のスペースでは、子ども
たちに大人気のジャグリング
もお楽しみいただけます。

発達科学部子ども発達学科3年

宮田 彩楓

『ほいくのくに』開催に向けて
「ほいくのくに」運営委員長
保育学科1年 香川 渚月
今年のテーマは、『みんな
あつまれ!! 笑顔の森へようこ
そ!』です。

「ほいくのくに」運営委員長

保育学科1年 香川 渚月

そ！
です。

2号館をメイン会場に、1階ではパネルシアターと人形劇を、2階では小部屋に分かれて研究室ごとに子どもたちと一緒に遊びます。

毎年心待ちにしてくれている子どもたちのために、安全にも十分配慮し、心を込めて全力で小道具などを製作しています。また、人形劇やパネルシアターも新しいお話の準備を着々と進めています。

そして、今年は高松東高等学校の生徒の皆様が参加してくれることになりました！初めての試みですが、生徒の皆様と一緒に「ほいくのくに」を作っていけることが今からとても楽しみです。

ぜひ、お子様と一緒に勉強してください。保育学科一同お待ちしております。



高松大学

発達科学部

小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科4年

側瀬 早加
香川県で実施された小学校教員採用試験を受験した。

受験した4年生全員が一丸となって、この日のために、日々努力を積み重ねてきた。それぞれが試験対策をしながら得意な教科は教え合うなどして、支え合いながら試験に挑んだ。個人で受験するものではあるが、チームで頑張ることの意味、大切さを実感した。

また、学部の先生方は、私たちのために筆記試験対策講座を開講してくださり、集団討論や模擬授業の練習では、様々な面からアドバイスをくださった。

挫けそうになることや諦めそうになることもあったが、つらくても頑張り続けることができたのは、同じように教員をめざす友人や応援してくださった先生方のおかげだと

思う。共に頑張る仲間、親身になって支えてくださる先生方に出会えたことに心から感謝している。

学部の特色「ゼミ連絡会」

発達科学部子ども発達学科4年

石原 里桜
発達科学部の「色」を作り、縦と横の繋がりを強め、親睦を深めることができる「ゼミ連絡会」。

毎週金曜5校時に学部の全学生・教員が集まる会だ。

私は「学びあり！体験あり！」をモットーに、昨年度1年間、「ゼミ連絡会」の企画・運営役員を他4名とともにに行った。この経験を通して、教職において必要な人前で話す力が確実に身についた。また、週末に学部全体で笑い合える雰囲気私たちが役員は大



好きだと再確認できた。「ゼミ連絡会」は、これまで受け継がれた発達科学部ならではの

はの魅力であり、欠かせない伝統だろう。

せっかくの大学4年間、限られた時間の中で学内でしかできないことをする土台が「ゼミ連絡会」であり、これから学部全員で盛り上げていきたい。

経営学部

西安外事学院との交流

6月14日、本学の学術交流協定校の1つである西安外事学院（中国・西安）で日本語を学ぶ学生と、本学の学生との交流会をリモートで開催しました。先方は20名、本学は留学生と日本人学生あわせて11名が参加し、始めに本学が留学生の試験に関する説明と香川県や高松市を紹介、次に西安外事学院の学生から西安市および大学に関する紹介が行われました。

西安外事学院の学生による説明は日本語によるものでしたが、あたかも日本人が話すように流暢であったため、「日本語を学びはじめて何年ですか？」と尋ねたところ、「4年です」との返事で、非常に驚きました。

お互いの都市および大学の

紹介を行った後は、学生同士で質疑応答を行い、それぞれの国や文化、勉強・遊び・暮らし方に関して活発に意見が交わされ、相互理解と交流を深めることができました。

七夕コラボフェスの開催

7月7日、経営学部の学生が主体となり、高松丸亀町壱番街前ドーム広場で「七夕コラボフェス」を開催しました。

このイベントでは、七夕らしく、短冊に願いを書き笹に結びつける「七夕コーナー」、本学と連携している「むれ源平石あかりロード」のPRや「庵治石」に関連した雑貨、石あかりの置物を販売する「石あかりPRコーナー」、そして経営学部で実際に使っているマルチメディアを体験できる「マルチメディア体験コーナー」を展開しました。

また、ステージ企画としても、本学卒業生によるマジックショーやバルーンアートも実施し、商店街を利用する方々に見てもらうことができました。

今後も経営学部では「地域を元気に」を合言葉に、様々なイベントなどを企画していきます。

探訪／研究室

経営学部 浮穴 学慈

自己紹介



専門は情報科学で、特にネットワーク用アルゴリズムです。趣味はマンガ・アニメ・ゲームです。やり込むほどに味わい深いゲームが好きです。作業は嫌いです。

ゼミナールの特徴

情報関係は難しく感じがちなのですが、一人ひとりの興味関心事やモチベーションと折り合いを付けながら、勉強を進めています。

ゼミ生へ一言

興味関心の幅を広げる、深掘りするといった知的活動の楽しさを学び、お金以外の面でも豊かな人生とする礎にして欲しいなと思います。

二十歳の時の自分

勉強面以外の話としては、当時の国内は国産PC全盛の時代でしたが、パーツを購入してIBM互換機を組立ったりしました。情報系サークルに参加したり、対戦格闘ゲームをやり込んだりの二十歳でした。

高松短期大学

保育学科

児童文化部・・・

初めての人形劇

保育学科1年 三木 華音



高松大学・高松短期大学で開催されたオープンキャンパスで、児童文化部として人形劇を披露しました。

私たち1年生は、人形劇をするのが初めてで、どのようにすれば上手く動かすことができるのか、動かしながら高さを揃えるためにはどうすればよいのか、練習時間もあまり取れないということもあり、不安でいっぱいでした。そんな時に、先輩方が優しく丁寧にアドバイスしてくださったおかげで不安が一気になくなりました。



また私は、人前で発表することが苦手でした。その時に先生から「緊張は無くならないが練習した分、子どもたちが返してくれる」ということを教えていただき、それまでより緊張せずに発表することができました。

このオープンキャンパスでの経験を、実習などでも生かしていきたいと思っています。

「お散歩ランティア」に参加して

保育学科1年 服部 朱里



毎週水曜日の探究活動の時間を利用して「お散歩ランティア」に参加しました。高松東幼稚園の0歳児たちを園までお迎えに行き、大学内の模擬保育室のおもちゃを使って、一緒に遊びました。

お散歩の前に、園で先生方がどのようなことをされているのかや声掛けの仕方などを知ることができました。

初めは、子どもたちとの接し方に戸惑うことも多くありましたが、慣れてくると、子どもたちの方から側に来たり、話しかけたりしてくれてとても嬉しかったです。



普段、未満児と関わることはないのですが、今回お散歩ボ

ランティアに参加して、触れ合いながら子どもたちの様子を見ることができてよかったです。機会があれば、また参加したいと思っています。

ビジネスデザイン学科
(秘書科)

大変だった！でも楽しかった!!さぬきマルシェ

秘書科2年 三木 陽葉理



私が、「さぬきマルシェ」を知ったのは、1年生の「ビジネス実務総論」の授業です。この授業では、実際にマルシェを見学して、出店者の方から直接お話を伺うことで、出店に向けての準備をしました。

ところが、実際に商品を販売するのは、とても大変でした。私たちが出店したのは梅雨の季節だったので、天候を



見ながら商品の仕入数を調整したり、雨天に備えたりしなければいけませんでした。

しかし、私が特に大変だと思ったのは、お客様への声掛けの仕方です。お客様の好みはまちまちです。興味をもってもらうためにはどのような声掛けをすればいいか、好きになってくれるかを考えました。

出店は1日でしたが、コミュニケーション能力やお客様に対する接客の仕方などを学ぶことができ、大変楽しく、有意義な経験となりました。

メディアカルラーの
ボランティア体験

ビジネスデザイン学科1年

福家 百花

7月21日に開催された、三光病院主催の「第1回さぬき



子どもメディアカルラー」にボランティアとして参加しました。

「さぬき子どもメディアカルラー」では、子どもたちが応急手当や災害避難といった困難なシチュエーションに挑み、点数を競います。私は競技に参加するのではなく、運営のボランティアとして参加しましたが、心肺蘇生法やアールコール依存症など多くのことを学びました。

特にアルコール依存症は、依存してしまった本人だけでなく、家族や友人など周りの人を巻き込んでしまうことが問題となっていることを知り、そのときの家族や友人の対応の仕方や依存症から抜け出すための方法などを子どもたちと一緒に考え、学びました。貴重な体験となりました。



キラリ☆輝く人

劇団に所属し「0歳からのコンサート」に出演

保育学科1年 飯田 帆乃夏さん

幼少の頃からお遊戯が好きだった飯田さん。高校1年生からは、NPO法人リトルウィングが運営する劇団「パフォーマンスカンパニー・リトルウィング」に所属し、演劇を学んでいる。そして、今では定期的に舞台にも出演している。

今年5月に丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスで開催された「0歳からのコンサート」では、子どもたちや保護者の方々に前を、演奏や歌に合わせて踊り、パフォーマンスを行った。

飯田さんは、「1つの目標に向かってみんなが力を合わせ、コミュニケーションを取りながら作り上げる。それを観客の前で披露して拍手や声援をいただいた時の達成感が、演劇をやる魅力。そのような経験を、ぜひ保育の現場でも生かしていきたい」と抱負を語ってくれた。



学園グッズとしてボールペンが仲間入りしたよ。インクは黒色、ボディは学部学科カラーをイメージした4色、ロゴも入ってどれもかわいい！

オープンキャンパスなどのイベントや広報などでの活躍を期待してます！



探訪／研究室

●自己紹介

保育学科 田中 弓子



専門は家族社会学です。大学院時代に「働く母親」に関する調査

をするため、お世話になった病後児保育所での学びが、今につながっています。

●研究室の特徴

相手への思いやりを大切に、模擬保育をしたり、実習に役立つ教材作りをしたりしています。

●研究室の学生へ一言

模擬保育の振り返りの時間、先生役の人子ども役の人も発する「ありがとう」。このあたたかい気持ちをいつまでも。

●二十歳の時の自分

仕事と子育ての両立支援をしたいけれど、どのような方法ですべきか思案し、様々な文献を読みました。その著者に社会人となり、直接出会えたことは、喜びの一つ。

● 認定こども園高松東幼稚園ニュース ●

子どもたちの大好きな場所

高松東幼稚園の子どもたちのお気に入りの散歩コースは、隣接する高松大学・高松短期大学の構内です。初夏にはきれいに咲く紫陽花を見たり、秋には落ち葉やドングリを拾ったり、四季折々の自然を楽しんでいます。

そして、大学の構内にはもう一つ子どもたちが大好きな場所があります。それは保育学科の学生さんが『探究



活動』を行っている「模擬保育室」です。木のぬくもりを感じ

る玩具や大きなボールプール等、子どもたちの目が輝く玩具がたくさんあります。一緒に遊んでくれる学生さんたちはとても優しく、子どもたちの気持ちに寄り添って遊んでくれるので、みんな安心して夢中になって遊んでいますよ。「次はいつ行けるかな？」自分たちの順番を心待ちにしている0・1・2歳児の子どもたちです。



世界の舞台へ

経営学部経営学科2年

矢野 瑛吉



6月2日から8日までマレーシアのクアラルンプールで開催された「アジア大学サッカートーナメント」において、高松大学サッカー部の矢野瑛吉選手がU-20全日本大学選抜のメンバーに選出され、グループリーグから試合に出場し、チームの優勝に貢献した。

●U-20全日本大学選抜メンバーに選出されたときの心境はいかでしたか。

正直びっくりしました。楽しいしみな気持ちもありましたが、身の引き締まる思いで、全日本大学選抜としての振る舞いと行動をし、チームの勝利に貢献したいと強く思いました。家族や友人、恩師からも応援のメッセージをたくさんもらい、これまで支えてくださった方々に感謝し、結果を出して恩返ししたいと思いました。

●振り返ってみて、ご自身の課題や成長など気づきは得られましたか。

ゴールという結果は出せなかったのですが、アシストで自分の存在感を出すことができました。足元の技術といった点では通用する部分もあり、自信を持ってプレーすることができました。代表チームとしては3原則があり、「切り替え」「球際」「ハードワーク」を大事にしていたのですが、自分にはまだまだプレー強度が足りていないと実感しました。

●今後の抱負を聞かせてください。

将来の夢はプロサッカー選手で、日本代表として活躍したいという目標があります。その中で今回の経験は大きな財産になりましたが、ここで選ばれて満足するのではなく、今後も選ばれるために結果を出し続ける必要があると思います。

これから総理大臣杯など全国大会がありますが、そこで結果を出し、存在感を示すことが今後の課題だと思っています。結果は簡単には出ませんが、意識を高く、準備を怠らず、結果が出るまでやり続けることが成長につながると

思います。自分の価値とチームの価値を上げていき、チームを勝利に導くことができる選手になります。

高松大学サッカー部は、「2024年度四国大学サッカートーナメント」で優勝し、9月4日から開催される「2024年度第48回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」に出場する。

全日本インカレへの切符を奪取

高松大学ハンドボール部は、京都府で開催された第63回西日本学生ハンドボール選手権大会に出場した。

予選リーグの桃山学院大学戦、愛知産業大学戦を、共に逆転で勝利し、予選最終試合の福岡大学戦に挑んだ。立ち上がりから良く足が動き、アグレッシブな守備と粘り強く縦を狙った攻撃で得点を重ね、リードを奪うものの、福岡大学の高確率なシュートやGKの好セーブにより、最終ス



コア22対29で敗戦となった。予選リーグを2勝1敗として2位になったことで、インカレ決定戦へと進んだ。対戦相手は、関西福祉科学大学となった。序盤より一進一退の攻防が展開され、前半・後半トータル25対25とし、延長戦へ突入した。延長戦に入っても最後まで諦めず、粘り強いプレーが展開でき、最終スコア29対28でこの試合を制した。この勝利により、11月より広島県で開催される全日本インカレへの切符を手にすることができた。中四国学連の代表として良いゲームができるよう、残りの3ヵ月しっかりと準備していきたい。

学長表彰

本学では、学術・文化・スポーツなどで顕著な成果を挙げた学生を対象に「学長表彰」の授与を行っています。令和6年度前期（8月末現在）の表彰は以下のとおりです。

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
矢野 佑介（経4）	〔スポーツ部門〕 第38回デンソーカップチャレンジサッカー福島大会 優秀選手賞	令和6年6月14日
ハンドボール部	〔スポーツ部門〕 第63回中四国学生ハンドボール選手権春季リーグ戦Ⅰ部 準優勝	令和6年6月14日
サッカー部	〔スポーツ部門〕 第29回香川県サッカー選手権大会（兼 天皇杯代表決定戦）準優勝	令和6年6月14日
ハンドボール部	〔スポーツ部門〕 第74回四国地区大学総合体育大会「ハンドボール競技」優勝	令和6年6月14日
サッカー部	〔スポーツ部門〕 四国大学サッカートーナメント兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント四国地区予選会 優勝	令和6年8月5日
矢野 瑛吉（経2）	〔スポーツ部門〕 U-20全日本大学選抜 アジア大学サッカートーナメント 選抜選出及び優勝	令和6年8月5日

令和5年度 学生による授業評価

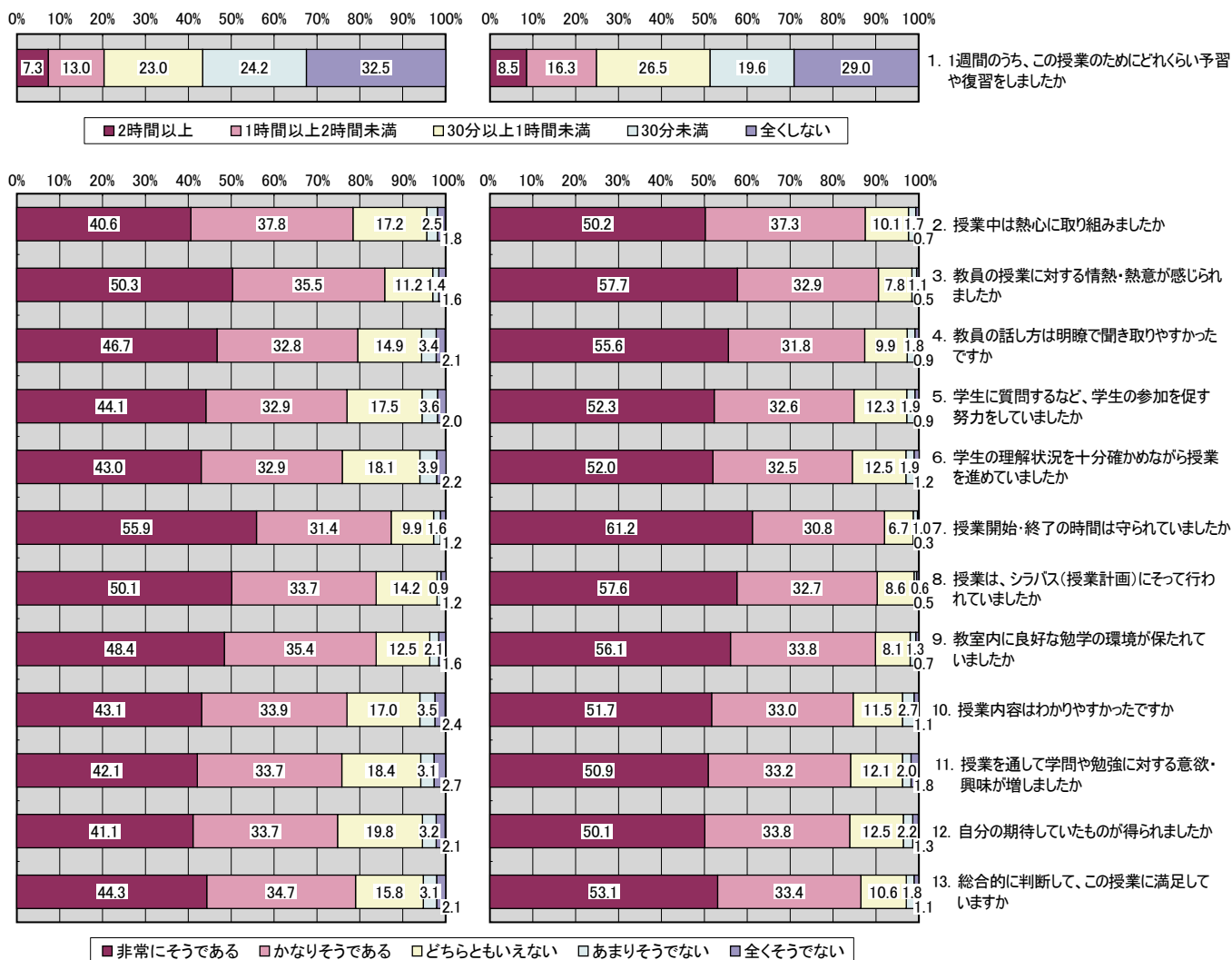
本学では、教育活動がどのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。集計結果は、翌年度の5月31日付けで個々の授業ごとに担当教員のコメントを付してDVDに保存し、附属図書館で閲覧できるようにしている。また、ホームページに大学、短期大学それぞれの全体集計結果を掲載している。

次のグラフは令和5年度に実施した全体の集計結果である。回収率は大学が51.33%、短期大学が69.67%であった。

また、本学の「授業評価による教員表彰に関する規程」に基づき、令和5年度の授業評価において優秀な評価を得た教員として、大学から発達科学部の川口めぐみ准教授、大学院から神部順子教授、短期大学から保育学科の辻野栄一教授が表彰された。

高松大学

高松短期大学



☆令和7年4月、発達科学部子ども発達学科に「子どもビジネスコース」を設置します。発達科学部の特徴ある教育活動に加え、経営学部に関連科目を履修することで、ビジネスに関する知識や能力を養い、子ども関連ビジネス(玩具・遊具メーカー、児童書出版社、テーマパーク、子ども服メーカーなど)で活躍する人材の育成をめざします。(N)

編集後記

★ご寄附のお願い
本学園は、学生、園児に対する支援充実のため、ご寄附を募っております。誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。
★募集期間 随時受付します。
★申込方法 本学ホームページもしくはお電話にてお申し込みください。
★連絡先 総務部会計課
☎087(841)2161

令和6年度 ウィンターフェスティバル

入場無料

【日時】11月28日(木)
18時30分開演
【場所】レクザムホール 小ホール
(高松市玉藻町9-10)

学内選考で選ばれた学生やクラブ・サークルによる音楽の祭典です。ぜひご来場ください。